

NPO紹介シート

作成日 平成19年6月1日

作成者 谷本圭吾

法人格	フガナ	ドンマイ	フガナ	たにもと けいご	団体設立日	平成17年10月6日			
有	団体名	どんまい	代表者名	谷本 圭吾	法人設立日	平成18年1月23日			
活動地域	松山市内		正会員	賛助会員	事務局	ボランティア			
主たる活動の種類	精神障害者の地域生活支援事業		個人	13人	85人	有償	有償	4人	
従たる活動の種類	それに伴う事業		団体	15団体		無償	3人	無償 5人	
所在地	〒791-0113 松山市白水台1丁目6番地4		単位千円	収入合計	会費	寄附金	自主事業	委託事業	助成金
TEL	090-4788-9801		18年度	31,565	595	9,930	16,040	0	5,000
FAX	089-923-3023		17年度	2,602	770	1,253	579	0	0
Eメール	npo-donmai@nifty.com		16年度						
ホームページアドレス	http://npo-donmai.web.infoseek.co.jp/index.html								

*下記は、箇条書きでわかりやすくご記入ください。

団体設立のきっかけ	自己評価
<p>精神障害者の地域での生活をサポートすること 市民の協力により、活動の幅を広げていく そのための施設を増設していくこと 障害者への理解を広げるための啓発活動</p>	<p>(各32点満点)</p> <p>評価指標は千葉県「NPO家計簿」より</p>
今、力を入れている活動	
<p>精神障害者は病院に長期入院を余儀なくされ、地域での自分らしい生活をあきらめざるを得ない状況にあります。紹介者が自分らしく地域で生活できるよう、応援をしていける施設、仕組みを作っていきたいと考えています。</p> <p>共同で生活を支えていく場として障害者ケアホームの運営を、日中に活動する場として地域活動支援センター、小規模作業所の運営を通し、生活の支援や生甲斐作り、仕事作りをすすめていきたいと考えます。</p> <p>そのために市民の協力や理解を得られるよう、啓発活動にも力を入れます。</p>	
主な活動実績	
<p>障害者ケアホームの増設を進め、長期入院の方の退院促進を図る（現在3施設18名） 障害者地域活動支援センター、小規模作業所の運営を通し、地域での生活を支える。（現在2事業3施設）</p>	

NPO連携シート

団体の目的・目標	わたしたちの強み
<p>精神障害者が地域で安心して自分らしい生活をしていけるよう支援する活動が目的であるが、市民が参加して理解を深めてもらい、協力してもらえようようなネットワーク作りを目指している。</p>	<p>いろいろなジャンルの業界の方たちが協力してくれるので、何に対しても対応できるネットワークが形成されつつある。</p>
<p>今後、団体に必要と思われること、モノなど</p>	
<p>上記のことをすすめていくためには、まだまだマンパワーが不足しているし、スタッフの人材育成にも力を注ぎたいと考えている。市民に対する啓発活動も必要であると考えているので、機会をたくさん作りたい。</p>	
<p>目標達成のため連携したいことがあればお書きください。 どんな団体と?どんな風に? (アイデア程度でいいです)</p>	
<p>福祉系に限らず、人とのつながりを大切にする活動をしている団体と交流協力関係を持ち、地域でいろいろな人が自分らしく暮らしていける、支えあいながら暮らしていける共生の場を目指していきたいので、よろしくお願いします。</p>	

NPO自己評価チェックリスト

出展:千葉県「NPO家計簿フォーマット」より

このチェックリストは、みなさんが自分たちの団体を振り返り、よりよい活動にしていくための指標です。また評価内容を公開することで、団体の透明性が増し、市民の信頼を得ることができます。点数は1:できていない 2:あまりできていない 3:まあまあできている 4:できている です。

1. 課題・ニーズを発見する力		合計:	19
◆様々な手法による課題・ニーズの把握			
1) 参加者、利用者の方々と話をして情報収集をしている。			3
2) 課題やニーズを把握するためのアンケート等の調査をしている。			1
3) 地域や他の団体、関係機関との意見交換や交流の場を設けている。			2
4) 行政、または新聞、書籍、テレビなどのマスメディアから情報収集をしている。			3
◆課題・ニーズを把握するための環境			
1) 課題やニーズを調査するための人材や環境が整っている。			2
2) 課題やニーズを発見するためのネットワークや仕組みを持っている。			3
3) 課題やニーズについて得た情報について、団体で話し合っている。			3
4) 課題やニーズについて得た情報を事業に活かしている。			2
2. 広報を活かす力		合計:	18
◆様々な手法による広報活動			
1) 機関紙、ホームページ等で団体の活動を紹介している。			3
2) 行政が発行する広報誌や新聞、テレビ等のマスメディアを活用している。			1
3) 様々な行事やイベント等に参加して、団体の活動をPRしている。			2
◆広報の対象についての調査、活用			
1) 伝えたい対象者がはっきりわかっている。			3
2) 伝えたい対象者について、事前に情報を収集している。			3
3) 得た情報や調査の結果が、広報をするときに効果的に反映されている。			2
◆広報結果の調査、整理			
1) 広報をした結果について振り返りなどの調査をしている。			2
◆広報活動の環境			
1) 広報に関する仕事ができる専門家やスタッフがいる。			2
3. 組織を育てる力		合計:	22
◆人材の受け入れ、育成			
1) 事業に参加を希望する人を受け入れている。			3
2) スタッフや新人が研修するための機会を、組織内外において設けている。			2
◆組織全体で進める体制			
1) 理事会と現場のスタッフとの意思の疎通や連携がうまく取れている。			2
2) スタッフ全員で団体の課題や事業等について定期的に話し合っている。			3

◆外部力の導入、活用

- | | |
|---|---|
| 1) 分野の異なる団体や企業が開催しているフォーラム等の集まりに参加している。 | 3 |
| 2) 地域や他の団体等と勉強会や研修会をしている。 | 2 |
| 3) 外部の人を積極的に活用している(インターンシップ等) | 3 |

◆仕事を行う環境

- | | |
|--|---|
| 1) スタッフやボランティアが安心・安全に活動できる制度(保険等)が整っている。 | 4 |
|--|---|

4. 事業を推進する力 合計: 26

◆目標や計画の設定、立案

- | | |
|---|---|
| 1) 団体のビジョン、社会的な役割、活動の将来像が描かれている。 | 4 |
| 2) 目標を実現するための事業について具体的な目標や実施計画が立てられている。 | 4 |

◆取り組みの姿勢、実施体制

- | | |
|---|---|
| 1) 目標や計画の設定、立案が団体内で理解、共有化され、
実現に向けて組織全体で取り組んでいる。 | 3 |
| 2) 事業の企画、運営管理、総務(労務、経理)についてよくわかる人がいる。 | 3 |
| 3) 事業を進める上で、多様なネットワークからの支援、協力を求めることができる。 | 4 |

◆事業評価、分析、活用

- | | |
|--|---|
| 1) 計画と実績の、経費バランスの評価、検証ができています。 | 3 |
| 2) 費用対効果を含めた事業の成果について全体で検討し、改善、活用している。 | 2 |
| 3) 外部からの意見、要望、問い合わせ、クレーム等を事業へ反映させている。 | 3 |

5. 財源を生み出す力 合計: 20

◆経営の安定化を図る活動

- | | |
|---|---|
| 1) 事業づくりのための営業的活動や企画提案等をしている。 | 2 |
| 2) 安定した収益を得るための基盤となる会員拡大や事業づくりに取り組んでいる。 | 3 |

◆事業の創出、財源確保の手法

- | | |
|---|---|
| 1) 他の団体、または企業との連携や協働事業に取り組んでいる。 | 2 |
| 2) 企業や行政等が実施する公募事業(委託事業等)に応募している。 | 1 |
| 3) 行政、企業、市民等による補助金、支援金を活用している。 | 4 |
| 4) 財源を確保するために団体独自の方法がある。 | 2 |
| 5) 様々な地域資源(ヒト、モノ、カネ、情報、文化、産業など)を活用している。 | 3 |

◆専門機関の活用

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1) 団体経営や事業の運営等について中間支援団体や専門家に相談している。 | 3 |
|--------------------------------------|---|